



2017～2018 ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

湘南・沖縄部 部報

国際会長主題 「Friendship across the Boader」
アジア会長主題 「Respect Y's Movement」
東日本区理事主題 「広げよう ワイズの仲間」
湘南・沖縄部長主題 「Y'sの絆を強め、広げよう」



2017年9月
(第1号)



「Y'sの絆を強め、広げよう」

Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men

湘南・沖縄部 部長 金子 功
(横浜クラブ)

湘南・沖縄部第21代(2017～2018年度)の部長を務めさせていただくことになりました横浜クラブの金子功です。

部長と言う重責を担う立場を与えられ身の引き締まる思いがしておりますが、お引き受けしたからには前向きに、喜んで部の運営に励みたいと思っておりますので皆様のご協力を心からお願いいたします。

私のワイズ歴も丁度10年が過ぎて、やっとワイズメンであることの喜びや楽しみが分かりかけてきたように思います。部長としての最初の仕事は、部長主題を考えることですが、先ず最初に頭に浮かんだことは「絆」、「つながり」でした。例会でいつも唱える「ワイズの信条」を共通の理念とする仲間たちとの出会いやつながりに喜びを感じ、行動を共にすることが楽しくなりました。信条にうたわれている理念を共有することで仲間としての絆が生まれていることに気づいたのです。「Y'sの絆を強め、広げよう」はそのような発想で生まれました。奇しくもこの主題は、今年度の栗本治郎理事の主題「広げよう、ワイズの仲間」とほぼ一致するものでした。

ワイズの仲間が減少傾向にある中、会員増強はもはや掛け声だけではなく実行に移すべきとの考えから栗本理事は、各部に会員増強委員会の設置を呼び掛けました。湘南・沖縄部としては会員・増強事業主査を委員長とする委員会を設置しました。我が部にあっても今期の会員数

は前期より8名減少して合計115名です。会員各位にありましては一人が一人の会員を増やす覚悟で努力することをお願いします。部としては複数年をかけてもクラブ数を増やすExtensionに力を注ぎたいと思っています。

部長公式訪問は沖縄の2クラブを除いてすでに完了いたしました。各クラブでの歓迎を心から感謝しお礼申し上げます。沖縄につきましては来年2月3日(土)～4日(日)に予定しておりますので一人でも多くのメンバーが参加して沖縄との交流を図ることができるとを期待しております。

本年10月からは、日本YMCA同盟が中心になって進めて参りましたYMCAのブランディングプロジェクトがいよいよ実施段階に入ります。YMCAが実現したい世の中、ブランドビジョン、即ち、お互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会の実現のためにYMCAは動き出します。YMCAへの支援を最大の目的として活動をしているワイズメンズクラブとしては新しいYMCAの理念を良く理解し、YMCAとの新しい協働を模索しなければなりません。

東日本区のレベルでは、新たにワイズ・YMCAパートナーシップ委員会が設置されました。このフォーラムを通じてワイズ・YMCA相互の理解がさらに深まりY-Y'sのより有効な協力関係が育まれることを期待します。

今年度もよろしくお願ひいたします。

湘南・沖縄部部報第1号の発行に 寄せて

横浜YMCA総主事 田口 努



湘南・沖縄部部報第1号の発行および部会開催おめでとうございます。

日頃よりAIDS文化フォーラム、チャリティーラン、バザーや各種青少年育成プログラム支援、災害復興支援等々、数えきれないほどの横浜YMCAへのご支援、ご奉仕に心から感謝いたします。

さて、今年度は昨年からスタートした横浜YMCAの中期5カ年計画 横浜YMCA VISION 2020の2年目の年となります。この中期計画は、『次世代を担う子どもたち、青少年のために「FOR YOUTH DEVELOPMENT」』『すべての人々の健康的な生活を育むために「FOR HEALTHY LIVING」』『人と人、人と地域がつながるために「FOR SOCIAL RESPONSIBILITY」』の3つの柱があります。

この柱を横ざしするのが、新しいYMCAブランドコンセプトです。ブランドビジョン『互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る』ことを目指します。ブランドバリュー『したい何かが見つかり、誰かとつながる。私がよくなる、かけがえのない場所』となるプログラムを提供します。ブランドパーソナリティ『心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ』よう自ら実践する会員、スタッフとなるよう進めます。

横浜YMCA少年部出身の金子功さんをはじめワイズメンの皆さん方が体現しているといえるパーソナリティですし、まさしく「みつかる、つながる、よくなる」場であり、『「ポジティブネット」のある豊かな社会を創造する』ことを地で行くのがワイズメンの運動であるように思います。ワイズメンズクラブ湘南・沖縄部の各クラブの発展を祈りつつ、皆さまとともにブランディングプロジェクトの働きを推進できればと願っております。どうぞ、今年度も、よろしく願いいたします。

EそしてMCに期待

東日本区理事 栗本 治郎(熱海)



2017年度のスタートに当たり、湘南・沖縄部の皆様にご挨拶と理事方針を述べさせていただきます。

東日本区は1997年の発足以来、毎年のように会員の減少と共に高齢化が進みました。15名以下のクラブも半数を数えません。

そこで、理事主題を「広げよう ワイズの仲間」としました。日本語主題ですとインパクトが弱いので、英語表示を「Extension Membership & Conservation」としました。ズバリE・M・Cです。

東日本区21年目の今期は、会員の皆様に会員増強の意識を強くお持ち頂き、新会員候補の発掘・推薦を心掛け、今一度、身の回りの知人・友人を例会にお誘い頂きたいと思えます。

部長、部役員、会長さんには、区の研修会や役員会で既にお願ひしておりますが、部にエクステンション委員会を設置し、新クラブ設立に積極的に取り組む体制を作りたいと思えます。委員会を立ち上げるにより、新クラブ設立の為の種を植え、芽を育てて頂きたいと思えます。

今期の理事方針を受けて、金子部長は主題を「Y'sの絆を強め、広げよう」とし、活動方針を、部としてExtensionに、各クラブとしては会員増強に、そしてY's Menとしてはお互いに絆を強め、また、広げるとしています。

横浜YMCAには、多くのランチがあり、またYMCAが管理する施設も多くあります。YMCAとの協働の中で、会員増強や新クラブ設立の可能性の最も高い部だと期待しております。ワイズダムの発展に一層のご協力をお願い致します。

思いやりをもって地域に奉仕

地域奉仕事業主任 前原末子(御殿場)



本年度、栗本理事の下、地域奉仕事業主任の大役をお受け致しました前原と申します。ワイズではまだまだ若輩者で、皆様にご迷惑をお掛けしないよう頑張っていこうと思っ

ております。何卒よろしくお願い申し上げます。

ここ近年地球温暖化に依る、集中豪雨や猛暑そして何時起こるか分からない地震等、各地で災害が頻発しております。災害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて地域奉仕事業としては、栗本理事のおっしゃっております「入会したいクラブ」を目指す。「CSからEMCへ」を目標に一年頑張っていきたいと思っております。

それには先ず、地域の皆様にワイズメンズクラブを知っていただくこと、これは各クラブの特性や地域性等で一概には、こうしたらと言うものではないと思っております。

ここ数年、私が所属しております場御殿クラブでは、行政が主体となって行われる行事に、積極的に参加させていただきましたところ目立つジャンパーを着ていたせいか周りから声を掛けられることも多くなりました。

小さな事でも、続けていくことが大切と考えております。各クラブの特徴を生かした「無理をせず積極参加」をしていただくことが、クラブの存続と共にCSからEMCへ繋がると思っておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

NEOワイズメンズクラブ

会員増強事業主任 榎本 博(伊東)



栗本理事の主題「広げよう、ワイズの仲間」英語表示ではズバリ「E・M・C」この意味を理解し「会員増強」というキーワードを皆様と共有し、各クラブが円滑に活動できるよう1人でも

多くのメンバー・理解者を獲得できるような会員増強を展開していきたいと思っております。私のような若輩者が会員増強事業主任という大役を仰

せつかる事は、ワイズは寛容であると言う事です。さらなる発展の可能性は大きく開いているワイズの門へ、如何にして導くことが出来るかです。私の主題である「NEOワイズメンズクラブ」とは今まであったものの新しい形を意味します。同じ事を同じ様にやるのではなく、ひと捻り加えた工夫と柔軟性を持ち、刷新するくらいの気持ちで、もう一度自クラブをワイズメンズクラブを見つめ直してもらいたく思います。地域やクラブにより異なる事もありますが、地元根付けるようなCSや、ワイズ冠の事業を取入れ、知名度をあげる必要性もあると思えます。また時にはクラブの1番の目的を会員増強にしてみたいかがででしょうか？でも、どうであれワイズを、YMCAを愛している事には間違いはありません。なぜ私がワイズを愛しているのかと言えば…それは伊東クラブのメンバーが大好きだからです。伊東クラブの事業・活動に誇りと遣り甲斐があるからです。

ワイズの幅広いネットワークを楽しみながら、よりよい未来へとつなげよう

国際・交流事業主任 進藤重光(東京)



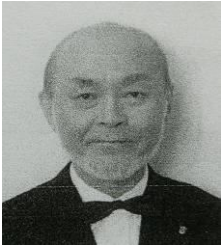
沖縄・湘南部の各地のワイズの皆さま、これから一年間、ご指導とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。YMCAはかねてより、「心身のバランスの取れた健康づくりは人生を豊かに過ごす

ための礎」(YMCAウエルネス概要)と強調していますが、現代科学の知見からも、「情報」から「保健医療」さらに「コミュニティ(共同体)」にいたるまで、人と人とのつながりが広いほど健康で長生きであることが分かってきています。信頼関係が強く、お互いに助け合う土壌で生活するほどその住民は健康になり、さらに物理的な地域を超え、ソーシャルメディア(HP・SNS)を通じての情報交換や支援の可能性が広がる時代であることを意味しています。それはグローバルな社会全体(IBC・DBC)の交流というテーマに繋がり、食生活や災害救助の面でも互恵の関係を強化するでしょう。私たちワイズメンズクラブも、国や地域、業種や年代を超えたYMCAの「ポジティブネット」を生かし、多様性の豊かさを受け入れ、その喜びを楽しんで伝えながら多くの方々と共に歩んでいきたいと思っております。先ずはインターネットをより活用し、外部に向けたクラブ自慢(写真・活

動紹介)から活性化につなげていくのは如何でしょうか。

2017-18年度ユース事業活動方針

ユース事業主任 長津 徹(東京サンライズ)



本年度のユース事業の主題を「ユース事業を通じて理事方針の実現を目指す」といたします。理事方針の「広げようワイズの仲間」をユース事業を通じて目指します。

前年度の「部の強化・活性化」も引き続き目標と致します。部主催のユース育成事業に対して5万円を上限として支援を実施します。計画書を10月末までにご提出いただき、3月末までに実施して頂きます。4月末までにご報告いただいた時点で支援金を給付いたします。

理事ローガンにある会員増強の実現のために、クラブの事業や例会プログラムにユースとの交流や協働する事を取り入れて頂きたいと思えます。ユースと関わることにより楽しいクラブライフが実現しクラブの活性化につながると思えます。

従来通り、区主催のYVLF、オープン・フォーラム、IYCへの派遣の三事業を推進して参ります。特にYVLFは、YMCAのユースリーダーたちと直接関わることのできる貴重な機会です。多数のワイズメンにご参加いただきたいと思います。皆様のご理解、ご支援をお願い致します。

広めようワイズの活動

地域奉仕事業主査 大高 治(横浜)



湘南・沖縄部の地域奉仕事業主査に任ぜられて2年目になります。去る3月御殿場で開催された東日本区の次期会長・部役員研修会に参加し、多くの方々から活動の実態や抱負を伺う機会を得られたことは有意義でした。

過日、各クラブに地域事業支援金の申請をお願いしました。これらを取りまとめ、部の役員会に提出する運びとなります。

湘南・沖縄部の各クラブが取組まれる活動はそれぞれの地域の特徴を反映し、地域に根ざし

たもので、会員一人ひとりが何らかの役割を果たす継続的なものと思えます。

各クラブのこうした活動は、「ワイズの信条」を反映するものであり、その活動を「地域社会にもっと知って頂ける」よう「広報活動」に活用して行けば、東日本区の栗本理事の主題「広げよう ワイズの仲間」作りに繋がり、「会員増強」に資するのではないかと思います。

また「会員増強」を重視する「広報活動」がクラブ間交流のテーマの一つに挙げて頂けるなら、金子部長の掲げる「ワイズの絆を強め、部の強化、活性化」という方針の実践にもなり、クラブ間での情報交換が進み、「広報活動」がより成果が挙げられるよう改善改良も進んで行くのではないかと思います。

一人がひとりの笑顔で会員増強!

会員増強事業主査 佐藤 節子(厚木)



今年度、金子 功部長の方針のもと、会員増強事業主査を務めさせていただきます。

どうぞ、よろしく願い申し上げます。

部事業主査の役務を改めて、ロースターを紐解きました。

「部事業主査は、部長のスタッフとして事業ごとに置かれる部役員。部の事業活動の活発化に努め、クラブとの連絡図ると共に、区事業主任との連絡を密にする。部長および区事業活動報告書を送る。」

“役は葉にしてや躍に通ず”と言われますが、理由はどうであれ、受けさせていただきましたこの巡り合わせを大切にしたいと思っております。

栗本理事の目標の一つにエクステンション委員会を部に設置すること。その流れにおいて金子部長より「主査が委員長を」のお言葉を受けました。各クラブの主査さんとともに連絡を密にしながら、活動の一步をあゆみ始めたいと考えています。

お仲間づくりの最初の一步は「一人がひとりの笑顔」で始まり、そして「会員増強」を“合言葉”に活動できたら最高と思っています。

無理なく、でも、ちょっと無理をして、できる範囲でEMC事業に取り組んでまいります。重なりますが「一人がひとりの笑顔で」お仲間を増やしやすい環境を創り、「会員増強」を「合言葉」に、各クラブの皆様のお力を支えにして、

一人と一人の手をつなぎ合わせていけたらいい
なと願ってやみません。

どうぞ、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく
お願い申し上げます

今年度の活動方針概要

国際交流事業主査 伊藤康一(沖縄)

2017-18年国際・交流事業を担わせて
いただきます。改めまして、東日本区国際・交
流事業進藤重光事業主任の方針を共有させてい
いただきます。課題とその解



決策として以下の4項目:(1)「強調月間」を
活用し、ゲストや新人ワイズに、だれもがわかりやす
く各事業の説明を行うた
めに、担当事業の資料・画

像などの共有化を積極的に図る。(2) 献金が
国際的にどのように使われ、具体的に役立って
いるかを理解し合いながら、現地の状況を分か
ち合うために、情報発信に努める。(3) IBC
/DBC: 締結希望のクラブとの仲介をする。

(4) RBM: 3年間延長されて2018年ま
で継続する。また、具体的な目標として:(1) 各
部事業主査と情報や資料を共有化する。(2) R
BM: 内部はもちろん、ワイズの外部にも向け、
後援や共催などのコラボレーションも視野に入
れながら「マラリア蚊帳」配布の重要性をアピ
ールし、その意義を広くPRする。(3) IBC:
3クラブ、DBC: 2クラブ、トライアングルI
BC 2組以上の締結を目標とする。(4) 海外
のワイズとの情報交換や相互理解を醸成、促進
をする。以上の方針に基づきまして、湘南沖縄
部といたしましても、状況の把握と情報の共有
に努め、活性化につなげてまいりたく存じます
ので、お力添えのほどお願いを申し上げます

基本中の基本

ユース事業主査 今城 高之(横浜つづき)



YMCAのパートナーとして、その活動を支援すること
を最大の目的とするワイズに
とって、青少年の育成に関わ
る様々なプログラムを実行す
ることは、基本中の基本とい
うべきことと考えます。各ク

ラブそれぞれが、ユースとの関わりを大切に
した個性あふれるプログラムの推進を、クラブ運
営の中心に据えるよう心掛けてください。

クラブそれぞれが独自のプログラムを行うと
同時に、お互いに学び合い、他クラブの素晴ら
しいプログラムがあれば、情報を交換し合い、
共有し合うことによってワイズ活動全体のレベ
ルアップを目指すべきだと考えます。

さて、区のユース事業主任は、今期の方針と
して、ユース事業を通じて理事方針である「広
げよう ワイズの仲間」を達成しようと呼び掛
けています。将来のワイズを考えるに、当然と
もいうべき方向だと思えます。

各クラブの日常活動や事業に、ユースとの交
流や協働プログラムを取り入れましょう。身近
なYMCA拠点に連なる、スタッフやユースリ
ーダーとの交流を進めましょう。

また、区では、部主催のユース育成事業に5
万円を上限に支援するプログラムを掲げていま
す。10月末までに申請するこの企画に、当部
としても是非参加したいと考えています。皆様
のご提案を大いに期待しています。

ひとりがよくなると世界はきっと変わる

部担当主事 青木 一弘(横浜)



日頃からのYMCAに対
するご奉仕に心から感謝申
上げます。現在、YMC
Aの取り組んでいるリブラン
ディングは、これまで方
向性が判りにくかった様々
な事業やプログラムに方向
性を示し、道筋を示す機会とな
り、その内容について咀嚼し、
現状と照らし合わせながら、
事業やプログラムに意味づけを
し、説明できるよう作業を行
っています。

その作業の途上では、方向性に合わないもの
や、意味づけができないものが出てきて、改善
する、もしくは変えてゆく決断が迫られる場
面があるかも知れません。しかし、今回のプロ
セスはそれらを通して、YMCAが時代に即した
ものに生まれ変わるチャンスと捉えることが
できます。そのために、関わる人のすべての人
がブランドコンセプトについて理解し、その認
識を共有していくことが必要です。

YMCAのリブランディングはようやくその
スタートラインに就いたばかりですが、社会に
提供できるYMCAの「宝=価値」を磨き、そ
の価値を広く効果的に伝えることによって、よ

り多くの方から共感、支援、賛同を得ることを目指しています。今後も引き続きご支援をよろしくお願いいたします。YMCAに関わる皆さんで「宝」を作り上げていきましょう。

新年度に向けての活動方針

横浜クラブ会長 舟田 正夫



7月1日発行の東日本区 Bulletin の主題は「広げよう ワイズの仲間」です。ワイズメンズクラブの会員数が減っていることと会員の平均年齢がどんどん高くなっている現状に鑑み、この主題が取り上げ

られたと思われます。

横浜クラブは7月13日に開催された総会でクラブの主題として「YMCAと共に！」を掲げ、YMCAへの活動支援やその他活動についての具体的施策を検討しました。その中の1つに「会員増強の推進と楽しいクラブづくり」があります。

会員増強の推進のためには自分に近い友人や知人を勧誘することが一番手っ取り早い方法ですが、それと同時に趣味の会、グルメの会、名所案内の会と言った幅広い活動を通してワイズメンズクラブへの勧誘も効果的かと思えます。

そこに流れる考え方は、楽しいクラブづくりであり、無理のない自然体での会員増強です。

この1年間はこのような考え方に立って、少しでも前進するように心がけます。皆さんのご支援をお願いいたします。

喜びを分かち合えるように

沖縄那覇クラブ会長 玉城 哲人



私は、前会長の屋良さんからお誘いを受け20代の時に沖縄那覇Y'sに入会しました。それから30年近く経ち、那覇Y'sには色々な出来事がありました。ここでの活動は、私にとって有益な学びになっております。

今日まで続けられたのは、おそらく子ども達の活動を後方から援助することが、私の性に合っていたからだと思っております。子ども達の

様々な経験や体験に関わることは、子どもにとって豊かな感性を育て、次の未来へつないでいくために大切に意義あることと考えます。そして、これからも子ども達を応援し続けて行くことは、彼らの先輩としての喜びと努めだと思っております。

沖縄YMCAは、湘南・沖縄部を始め、東日本区、全国のY'sの皆様からこれまで多くの支援を頂いてまいりました。この支援は沖縄の子どもたちのために大変役立っております。しかし、これまでの温かな支援に対してご報告や感謝の気持ちが足りなかったと反省しております。これからも子ども達と地域の支援活動に努力し、皆様と喜びを分かち合い、沖縄YMCAを支える那覇Y'sにしていきたいと考えております。どうぞ、これからもよろしくお願い致します。

活動の成果は 新入会員の増強に尽きる

横浜とつかクラブ会長 浦出 昭吉



今期金子部長活動方針に、「…部としては Extension に、各クラブとしては会員増強に、…」とあり、新会員の獲得を最優先課題に採り上げておられます。

私は、この7月号のクラブ・ブリテンの冒頭で「…会員の皆様に大きく期待する成果は新入会員の増強に尽きる…」と述べて、クラブ会員一同一丸となって、この1年を新会員の獲得に向け注力することを掲げました。

この今の時期、わたしたちが日ごろ行っているワイズメンズクラブの活動について、その中身をアピールする事の難しさは、お互いが身に沁みて思い知らされています。そこで、ついつい手っ取り早くお互いの人間関係のみに頼ってしまい、ムリを承知の義理の押し付けで、友人や知人の皆さんに入会を働き掛け、今日に及んでいるのが大方の実情のようです。それも限界に達していることは、ここ数年の会員増減の数字が示すとおりです。もはや口先だけで口説いても、どうなるものでもありません。今こそお互いが初心に戻り、あなたの生活態度を昔からの人間関係や新しい友人・知人にも示され、納得されることで、ワイズへの入会の動機付けになってもらう、ただこれしかありません。頑張りましょう。

みんなで活動して、楽しいワイズに

鎌倉クラブ会長 千葉裕子



今年度、鎌倉クラブの会長になりました千葉裕子です。

鎌倉クラブは長年、池田会長と言う名パイロットの下、快適ジャンボの旅を続けてきました。今年からは、小さなプロペラ機に乗り換える事になりました。

乱気流に巻き込まれたり、時には不時着する事もあるかもしれません。無事に旅を続けるには、皆様のお力が必要ですので、よろしく願いいたします。

私は、いつも仕事の帰りに、ワイズに行くのですが、疲れて行っても、帰りには元気になれるのが、今までワイズを続けてこれた大きな理由だと思います。

ワイズの楽しみは、自クラブの活動だけでなく、部や区の活動にもあると思います。又、他クラブの活動に参加させて頂くのも、刺激を受けいろいろな事に気づかせて頂き、勉強させて頂く良い機会でした。

今年の鎌倉クラブの活動は、他クラブとの交流をたくさんさせて頂きたいと思っています。鎌倉クラブから発信した折りには、どうぞよろしくご協力お願いいたします。現在9名の会ですが、なんとか2桁にしたいと思っています。全力で楽しみながら、活動してゆきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

新年度へ向けての活動方針・抱負

厚木クラブ会長 小松 仲史



厚木クラブでは、毎月第4水曜日に通常例会を行い、第二土曜日に第二例会を開催しております。通常例会では他のクラブにはない、食事の際に、「ぼっ地理」という最新の社会情勢をプロジェクターで映し、会員が説明しながら楽しく勉強いたします。又例会の最後では皆で歌を歌います。このように、諸先輩方からの大変楽しい運営を継続させて行けたらと思います。又、YMCAとの協力体制強化で「放談会

」を行い忌憚のない話と今後のスケジュールを話し合い決めていきます。

行政とは、厚木クラブとYMCAとの連携を深めて行くことを小林常良厚木市長と確認を致しました。来年には厚木市で「セーフコミュニティ・アジア大会」が開催されます。この機会にワイズメンズクラブ・YMCAを知っていただくチャンスととらえ、さらなる活動をしていきたいと思ひます。

今後の活動を楽しんで送るためには、会員皆様の負担が大きくならない様に 過去に囚われず「省く」事も大事だと思います。今まで行っていたからを理由に何でも押し通すのではなく、負担は最小限に、楽しさは最大にを念頭に入れ、仕事を持った若い人も是非入会して頂ければと思ひています。

楽しくなければワイズじゃない！

金沢八景クラブ会長 高橋 徳美



会長として2年目になります。1年目は何がなんだか分からないままに会長としての活動をしていましたが、今年度は役員研修等にも参加し、少しずつですが他クラブの会長達とも顔見知りとなり、ワイズの活動への理解も深まり参加する事が楽しくなってきました。

当会でもイベント毎に議論はありますが、「笑顔」を基本に会長から気持ちを切り替え参加していますので、お陰さまで新会員も1名増えて、これからの会の若返り化と活性化に努めていきたいと思っています。そして、今年度からは初めて地元のコミュニティ新聞「タウンニュース」にも新会長挨拶として取材をして頂き、ワイズ全体のPR広報にも力を入れていきたいと思ひます。

笑顔で奉仕、奉仕で笑顔

横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ会長 今城宏子



会長主題を標記の通り掲げさせて頂きました。新年度早々から想定外の出来事に揺れた当クラブですが、「自分を愛するように隣人を愛そう」をより大切に「仲良く、楽しく無理をせ

ず」に活動していきたいと思います。自分も大切にしながら置かれた場所での隣人を大切に思い、奉仕することを目指したいと思います。一生かかされていることに感謝してー。

基本方針は「YMCAのサポーターとして活動を支援すると共に地域社会に奉仕すること」とし、具体的には次の4つを継続して行います。

1. 横浜YMCAのプログラムに積極的に参加する。(室内サッカー大会、チャリティーラン、Y-Y's 協議会・新年会、北YMCA運営委員会・バザー等)
2. 地域社会に奉仕する。(YOU & I コンサートの開催(10/7) 都筑区社協への参加、グループホームのボランティア、地域NPO法人との連携等)
3. 東日本大震災被災地支援プログラム
山元町「みやま荘」「つばめの杜保育所」南相馬市「原町聖愛こども園」支援
4. 会員相互の親睦を深め、楽しいクラブ運営を行い、新会員を誘う。
一年間、どうかよろしく願いいたします。

今期活動方針

沖縄クラブ会長 宮里 伸一郎



私ども沖縄ワイズメンズクラブに於きまして、念頭にあることは会員の増強と考えます。

前々会長、直前会長も会員増強につなげる活動に取り組んできました。そのひ

とつに、京都トゥービークラブ様とのDBC締結が挙げられます。

8月26日に予定されている「京都トゥービークラブ設立20周年式典」へ私ども沖縄クラブ会員4名とゲスト1名(入会予定者)での参加を有意義な機会にしたいと思います。

記念式典の運営や、27日に企画して頂いている世界の文化都市 観光都市である 古都京都ならではのエクスカッションも、京都トゥービークラブ様のカラーを細部に感じ取れればと考えております。

予てより交流させて頂いている京都トップスクラブ様も式典にいらっしゃると聞いており、変わりなく御活躍されている様子をうかがえれば嬉しく思うと同じく今回式典にゲスト参加される熊本ジェーンズクラブ様とも交流の中から学びや気づきを得て、ワイズ活動また各々の経済活動に活かしたいと思います。

私が大切に思うことは、台湾で開催された世界大会でユースとの偶然なエピソードや出会えた世界のワイズメン、若輩な私の手を引いて導いて下さった日本のワイズメン、DBC締結によって深く交流頂いている京都トゥービークラブ様日頃から御指導 頂いている湘南・沖縄部の先輩方 全てが特別な財産であり関係を温めながら、これからの可能性を仲間に説き 活かせるよう努めることが会員増強に繋がると考えます。

結びに、世界大会で お世話になった沼津の長谷川ワイズ、栗本理事、東京の相川ワイズ、渡辺ワイズ、御園生ワイズ、富士山部の加藤部長へ感謝申し上げます 微力ながら今後 尽くしていきたいと思ひます。

みんなで活動して、楽しいワイズに

ワイズ・ユースクラブ横浜Y3会長 黒澤 伸一郎



私たちワイズ・ユースクラブ横浜(Y3)は、横浜YMCAのサポート活動を年数回を行っています。今年は、富士山YMCAの活動を主にサポートさせて頂いております。活動内容として、本

年5月に富士山YMCAで開催されました感謝祭と、7月1日から2日に実施された SC Johnson横浜YMCA東日本大震災復興支援富士山サマーキャンプをサポート致しました。感謝祭では、開催前日に富士山YMCAの10周年記念礼拝に参加し、その後テントの設営や会場プログラムの準備、印刷物の準備などを行いました。当日は、ご来場された方の受付や場内案内、マウンテンバイクやクラフト等アクティビティを運営したり、舞台で行われる抽選会などの進行をサポートしたりさせて頂きました。

サマーキャンプのサポートでは、2日間、子どもと一緒に活動し、プログラムの進行のサポートを行いました。今後も、富士山YMCAだけではなく横浜YMCA全体の活動の中でリーダートレーニングキャンプなどに参加し子どもたちやそこに関わるユースリーダなどが活動しやすい環境をサポートしたいと考えています。また、勉強会等社会の問題を知る機会やお互いに成長できる機会を作りたいと思ひています。

2017-2018年度 湘南・沖縄部行事予定

月	強調月間	部行事	東日本区行事	国際・横浜 YMCA・他
2017 7月	キックオフ YMCAサー ビス ASF RBM	各クラブ部長公式訪問（とつ か：7/1、鎌倉：7/11、横 浜：7/13、八景：7/21、 厚木：7/26、つづき：7/ 28） 10 半年報（クラブ→部長） 15 部報第1号原稿依頼 15 第1回部評議会・研修会 20 部長通信第1号発行	08 第1回区役員会 15 半年報（部長→会員増強 主任） 31 前期区費請求書発送	19-23 AYC 21-23 アジア太平洋地域大 会(チェンマイ)
8月	CS	15 部報第1号原稿提出期限 15 CS 支援金申請書提出期限	15 前期区費納期	4-6 第24回エイズ文化フ ォーラム in 横浜
9月	ユース	16 部報第1号発行 15 部費納付期限 16 部会（研修会・懇親会）	08-10 ユース・ボランテ ィア・リーダーズ・フ ォーラム	05 第78回 Y-Y's 協議会(横 浜) 23 横浜YMCA会員スポ ーツ大会
10月	EMC/E YES	16 部長通信第2号発行 21 部役員会（次次期部長選考）	28 次期部長・事業主任修 会(日本YMCA同盟)	14 第20回チャリティー ラン
11月	ワイズ理解 ファミリーフ ァスト	11 ワイズデーチャリティー ・コンサート（富士山Y 募金）（継続審議） 18 第2回部評議会（次次期 部長選考）	4 第2回役員会 10 ワイズデー	23 中央Y ウェルカムフェ スタ
12月	EMC/MC		8 祈りの輪	05 第79回 Y-Y's 協議会 （鎌倉） 21 YMCA クリスマス
2018 1月	IBC/DBC	10 半年報（クラブ→部長） 13 Y-Y's 合同新年会 20 次期クラブ会長名報告(部 長→区書記)	15 半年報（部長→区会員増 強主任） 31 後期区費請求書発送	13 Y-Y's 合同新年会
2月	TOF	3-4 沖縄部長公式訪問 17 部長通信第3号発行 28 各種献金納期(部→区)	15 後期区費、各種献金納 期(各クラブ→部) 28 各種献金納期（部→ 区）	11 横浜YMCA 会員大会
3月	BF メネット		3-4 次期クラブ会長・部 役員研修会（東山荘） 9 代議員会告示	06 第80回 Y-Y's 協議会 （とつか）
4月	LT	21 第3回部評議会・研修会	6 代議員会議案締切 7-8 第3回区役員会	
5月	EF/JEF	7 部報原稿提出依頼	1 代議員会議案送付 15 JEF エントリー締切	26 横浜YMCA 会員総会
6月	評価	13 部長通信第4号 部報第2号発行 16 第4回部評議会	1 第4回区役員会（沼 津） 2-3 第21回東日本区大 会（沼津）	5 第81回 Y-Y's 協議会 （厚木）

(2017年7月16日改訂)

2016-17年度 湘南・沖縄部 決算

(単位:円)

収入

項目	2016-17 予算	2016-17 決算	備考
区補助金	136,000	137,200	100,000 円+(300 円 x 124 人)
部費	171,000	177,000	1,500 円 x 118 人
C S ・ A S F	142,500	151,250	1,250 円 x 121 人
ユースフォーラム	160,000	160,000	20,000 円 x 8 クラブ
雑収入	1,977	2,290	
預り金	0	198,800	那覇、つづき、とつか、八景 区献金
小計	611,477	826,540	
前期繰越金	73,523	73,523	
合計	685,000	900,063	

支出

項目	2016-17 予算	2016-17 決算	備考
部報等印刷費	50,000	11,744	
ユースフォーラム	160,000	160,000	
部活動費	30,000	30,000	
委員会活動費	20,000	0	
部事業費	100,000	20,171	
会議費	5,000	2,861	
事務通信費	10,000	9,964	
I Y C 支援費	20,000	0	
富士山 Y 支援費	30,000	30,000	
沖縄 Y 支援費	30,000	30,000	
Y サービス支援費	45,000	60,000	
C S 活動支援費	140,000	140,000	
特別会計積立金	0	50,000	
区献金引当金	0	198,800	那覇、つづき、とつか、八景 区献金
予備費	45,000	0	
小計	685,000	743,540	
次期繰越金		156,523	
合計	685,000	900,063	

2017-18年度 湘南・沖縄部 予算

(単位:円)

収入・預り金の部

項目	予算額	備考
区からの経常的収入		
東日本区補助金	146,000	100,000円 + @400円 x 会員数(115名)
小計	146,000	
所属クラブからの経常的収入		
部費	163,500	@1,500円 x 会員数(109名 除、担当主事)
部CS協力金	136,250	@1,250円 x 会員数(109名 除、担当主事)
小計	299,750	
その他の収入		
雑収入	0	
小計	0	
収入合計 (A)	445,750	
預り金 (C)	927,200	
区献金預り金	767,200	@6,850円(目標額/人) x 会員数(112名 除、功労会員)
ユース拠出金預り金	160,000	@20,000円 x 8クラブ

支出・預り金支払の部

部活動支援金		
所属クラブCS活動支援金	180,000	所属クラブのCS活動に対する支援金(含、八景 ICCP)
小計	180,000	
YMCA支援金		
横浜YMCA支援金	30,000	含、富士山Y建設募金など
沖縄YMCA支援金	30,000	
Yサービス支援金	20,000	AIDS文化フォーラム助成金
小計	80,000	
部運営費		
部長公式訪問等活動費	30,000	
部行事費	30,000	部会、新年会等部主催行事のための費用
新企画運営費	20,000	会員増強委員会、ワイズデーイベントなど
部報等印刷費	15,000	部報・部注通信等発行費
事務通信費	10,000	
会議費	5,000	
小計	110,000	
予備費	50,000	
支出合計 (B)	420,000	
預り金支払 (D)	927,200	
区献金預り金支払	767,200	各種献金の区会計への送金
ユース拠出金預り金支払	160,000	YVLF負担金を区会計へ送金

17-18年度収支と次年度への繰越金

前年度繰越金	156,523	
単年度収支 (A) - (B)	25,750	
預り金・支払差額 (C) - (D)	0	
次年度繰越金	182,273	

註) 会員数は7月17日付修正版の湘南・沖縄部半年報に基づいています。

部特別会計 決算

(単位:円)

項目	2016-17 収入	2016-17 支出	備考
特別会計積立金	50,000		一般会計からの繰入金
部会残金繰入	25,000		
小計	75,000	0	
前年度繰越金	520,000		
次年度繰越金	595,000		

2017-18 年度湘南・沖縄部 部役員および クラブ会長

部長	金子 功	横浜
直前部長	若木 一美	横浜とつか
次期部長	佐藤 節子	厚木
書記	松島 美一	横浜
会計	伊藤 誠彦	横浜
【事業主査】		
地域奉仕	大高 治	横浜
会員増強	佐藤 節子	厚木
国際・交流	伊藤 康一	沖縄
ユース	今城 高之	横浜つづき
【監事他】		
監事	鈴木 茂	横浜つづき
EMC委員長	佐藤 節子	厚木
部担当主事	青木 一弘	横浜YMCA
【クラブ会長】		
横浜	舟田 正夫	
沖縄那覇	玉城 哲人	
鎌倉	千葉 裕子	
横浜とつか	浦出 昭吉	
厚木	小松 仲史	
金沢八景	高橋 徳美	
横浜つづき	今城 宏子	
沖縄	宮里 伸一郎	
横浜Y-3	黒澤伸一郎	

湘南・沖縄部スポットニュース

- 2017～18年度、湘南・沖縄部は前期より8名少ない115名の会員数でスタートしました。
- 高田一彦ワイズ（横浜）が前期をもって千葉クラブに転出しました。
- 林茂博M&Mネット（つづき）が今期より健康上の理由で休会することになりました。
- 金沢八景クラブが台湾からのICCPJ研修生を今年もホストファミリーとして受け入れました。継続して10年目のホストファミリーです。
- 加藤利榮ワイズ邸での納涼会が今年で20回目を迎えました。
- 沖縄YMCAが創立55年目を迎え沖縄那覇クラブを中心に記念誌発刊の募金運動をしています。
- 今年度湘南・沖縄部の最初の入会者として兵藤芳郎氏が鎌倉クラブに入会しました。
- 今年度の部長沖縄公式訪問は2018年2月3日（土）～4日（日）に予定されています。

編集後記

皆様のご協力により何とかまとめることができました。感謝いたします。特に編集面でご協力いただきました横浜クラブ伊藤誠彦ワイズには特に感謝いたします。

現在「東日本区10年の歩み2007年～2017年の歩み」が編纂されておりますが、湘南・沖縄部編を担当した私にとって部報は歴史を顧みる重要な資料であることを痛感しました。その意味ではこの部報も将来大切な資料になると思い一所懸命編集しました。

読者の皆様には、この部報により湘南・沖縄部の現状をご理解いただくことを切に祈ります。（IK記）